

スポーツターフにREVO<レボ>



南長野運動公園



09年10月発行

千曲川リバーフロントスポーツガーデン運動場

今回お話を聞いたのは社団法人長野市開発公社の青木茂グリーンキーパー。現在市内の芝地管理を多く手掛けている。

・南長野運動公園

AC長野パルセイロのホームスタジアム。ケンタッキーブルーグラスで面積約11000㎡。年間試合数120試合を超える。

・千曲川リバーフロントスポーツガーデン運動場

サッカーグラウンドは3面、ピッチだけで合計約30000㎡。ショートゴルフ場等も合わせると約15ha。サッカー場の草種はリピエラベースにスリークォーターをウィンターオーバーシード。AC長野パルセイロ、地元の高校等も使用している。90分の試合に換算すると1面あたり年間400試合以上多い時には460試合もの稼働率を誇り、芝生へのストレスは大きい。その一方で散水システム等は不十分でクオリティを一定に保つことは夏だけでなく、一年を通して難しい面がある。

・他、長野運動公園陸上競技場、長野県営野球場の管理をしている。



青木グリーンキーパー

レボを使用して3年目です。レボを使用することにより、芝の根張りがよくなり、ドライに悩むこともなく、また痛んだあとの回復も早いです。土砂降りの雨でもプレイ中のキックにより芝生が刈られ飛んでいくようなことが少なくなりました。多く雨が降ると、関係者からはターフクオリティ低下の心配の声が上がりますが、レボ散布によって私の中では余裕が持てます。プレイしている選手からも滑らなくていい、という声が上がっています。それだけ表面排水がいいということでしょう。勿論、レボを撒いただけですべてうまく行くわけではないですが、最後のもう一押し、困ったときの最終的な当てになる資材だと思っています

かゆい所に手が届く・・・こんな商品が欲しい

N-P-Kを与えてもなかなか吸えない時、即効的な体作りのために【マリンパワー】、芝の最盛期ではなく動きの鈍い時期、春の貯蔵養分、日照不足、リカバリ等には【グリーンメカ】、硫化水素などによる不快臭除去には【光合成細菌】。トモグリーンの商品はしっかりと理論立てられており、且つ、かゆい所に手が届く物といった感じです。

代理店

製造元



芝生・農芸薬剤の開発・輸出入

株式会社 **トモグリーンケミカル**

〒420-0816 静岡市葵区沓谷五丁目9番地の12

TEL <054>264-2151 FAX 264-2153

ホームページ <http://www.tomo-green.com/>